



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 庄司 宇秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 永戸 正規

TEL 03-3278-3892

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,502	△7.5	603	△51.2	365	△61.6	372	△56.0
24年3月期第3四半期	15,679	△13.2	1,237	0.1	951	15.7	846	256.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 232百万円 (△69.8%) 24年3月期第3四半期 767百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.70	—
24年3月期第3四半期	10.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	30,954	7,186	23.0	89.81
24年3月期	31,763	6,954	21.7	86.76

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,122百万円 24年3月期 6,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	△2.7	900	△42.1	500	△58.0	450	△67.5	5.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	79,442,038 株	24年3月期	79,442,038 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	141,809 株	24年3月期	140,493 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	79,300,972 株	24年3月期3Q	79,302,730 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要により緩やかな回復傾向にあるものの、円高基調や、欧州債務問題の長期化、中国経済の減速等により、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境のなかで、当社グループといたしましては、新たに策定しました3ヶ年の中期経営計画に基づき、業績の向上に努めて参りました。

しかしながら主要顧客である電子部品・半導体関連業界の生産調整の影響により、当第3四半期連結累計期間は、売上高145億2百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益6億3百万円（前年同期比51.2%減）、経常利益3億65百万円（前年同期比61.6%減）、四半期純利益は3億72百万円（前年同期比56.0%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①化成事業

燐酸などの燐系製品につきましては、一般品および二次塩類等の出荷量は、コンデンサー向け等の需要が軟調に推移したことから減収となりました。また、電子工業向け高純度品についても、ユーザーの需要低迷と輸出の不振により、前年同期比では大幅な減収となりました。

水処理用などの凝集剤は、上下水道向けの出荷数量が伸びたことから、プリント基板向けなどの減収をカバーし、前年並みとなりました。

コンデンサー向け原料は、主に販売単価の下落により減収となり、また消臭剤も、在庫調整の影響から減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、93億84百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント利益（営業利益）は、主要原料価格の上昇もあり4億45百万円（前年同期比52.8%減）となりました。

#### ②機械事業

破砕関連機械につきましては、廃材処理向けなどの需要の増加から、単体機械販売数量が伸び大幅な増収となりました。消耗部品も堅調に推移しましたが、プラント販売は減収となりました。鋳鋼品は、自社部品向けは堅調であったものの、外販品が落ち込み減収となりました。

下水道関連の掘進機の本体販売は、輸出を含め好調に推移したものの、国内工事の減少からレンタル物件の低迷により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、29億1百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益（営業利益）は、2億25百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

#### ③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、赤燐が堅調に推移し、インジウムも、大きく出荷数量を伸ばしました。主力のガリウムが、発光ダイオード業界の需要減少により売上が低迷し、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11億83百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億63百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

#### ④その他

石油精製用触媒の再生事業は、好調裡に推移いたしました。精密機械加工は、液晶製造装置向け等の部品加工が大幅な受注減となったことから減収となり、不動産の賃貸は、若干の増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、連結子会社の減少もあり10億33百万円（前年同期比17.4%減）、セグメント利益（営業利益）は、4億85百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて1億33百万円減少し、148億99百万円となりました。この主な増減理由としては、受取手形及び売掛金が1億95百万円減少、現金及び預金が1億92百万円減少した一方、たな卸資産が1億71百万円増加したことなどによるものがあります。固定資産は前連結会計年度末に比べて6億76百万円減少したことにより、160億54百万円となりました。この主な増減理由としては、有形固定資産の減少4億39百万円、投資有価証券の減少83百万円などによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、主として短期借入金が7億55百万円減少、支払手形及び買掛金が5億92百万円減少した一方、長期借入金が2億24百万円増加したことなどによって、前連結会計年度末に比べて10億41百万円減少し237億68百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、四半期純利益3億72百万円の計上があった一方、その他有価証券評価差額金が1億3百万円減少したことなどによって、前連結会計年度末に比べて2億32百万円増加し71億86百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は309億54百万円となり、自己資本比率は23.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月6日公表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,999	4,806
受取手形及び売掛金	6,427	6,231
商品及び製品	1,450	1,515
仕掛品	938	1,068
原材料及び貯蔵品	788	764
その他	439	534
貸倒引当金	△10	△21
流動資産合計	15,032	14,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,728	5,511
機械装置及び運搬具(純額)	2,268	1,941
工具、器具及び備品(純額)	318	285
土地	5,159	5,155
リース資産(純額)	40	37
建設仮勘定	213	357
有形固定資産合計	13,728	13,289
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	26	26
無形固定資産合計	946	945
投資その他の資産		
投資有価証券	1,233	1,149
その他	862	740
貸倒引当金	△40	△70
投資その他の資産合計	2,056	1,819
固定資産合計	16,730	16,054
資産合計	31,763	30,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,560	2,967
短期借入金	12,460	11,704
未払法人税等	65	40
賞与引当金	100	63
その他	1,306	1,418
流動負債合計	17,493	16,194
固定負債		
長期借入金	4,921	5,146
退職給付引当金	1,617	1,704
その他	776	722
固定負債合計	7,315	7,573
負債合計	24,809	23,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	△1,250	△877
自己株式	△34	△34
株主資本合計	7,158	7,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140	△244
為替換算調整勘定	△137	△163
その他の包括利益累計額合計	△278	△408
少数株主持分	74	64
純資産合計	6,954	7,186
負債純資産合計	31,763	30,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	15,679	14,502
売上原価	11,512	10,959
売上総利益	4,167	3,542
販売費及び一般管理費	2,929	2,938
営業利益	1,237	603
営業外収益		
受取配当金	21	25
受取地代家賃	30	31
為替差益	—	65
助成金収入	82	34
貯蔵品売却益	56	—
その他	70	58
営業外収益合計	261	215
営業外費用		
支払利息	286	273
休止鉱山鉱害対策費用	70	80
為替差損	97	—
その他	94	99
営業外費用合計	547	454
経常利益	951	365
特別利益		
受取和解金	—	58
保険差益	41	—
土地売却益	19	—
特別利益合計	61	58
特別損失		
減損損失	34	3
災害による損失	28	—
投資有価証券評価損	24	—
その他	34	—
特別損失合計	122	3
税金等調整前四半期純利益	890	420
法人税、住民税及び事業税	56	56
法人税等調整額	△16	△5
法人税等合計	39	51
少数株主損益調整前四半期純利益	850	368
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△3
四半期純利益	846	372

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	850	368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△103
為替換算調整勘定	△70	△32
その他の包括利益合計	△82	△136
四半期包括利益	767	232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	242
少数株主に係る四半期包括利益	△16	△10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,251	2,953	1,224	14,429	1,250	15,679	—	15,679
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	—	19	32	64	96	△96	—
計	10,263	2,953	1,244	14,461	1,314	15,776	△96	15,679
セグメント利益	942	243	311	1,497	450	1,948	△710	1,237

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、一般産業機械の製造・販売、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△710百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△704百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	9,384	2,901	1,183	13,469	1,033	14,502	—	14,502
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	—	—	9	19	29	△29	—
計	9,393	2,901	1,183	13,478	1,052	14,531	△29	14,502
セグメント利益	445	225	163	834	485	1,319	△715	603

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密機械加工、石油精製用触媒再生及び不動産の売買・賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△715百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△719百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。